



CAPTURE THE FRACTURE® PARTNERSHIP

エンゲージメント向上支援政策ツール

Dr Nicholas Fuggle BSc MBBS MRCP

Professor Cyrus Cooper OBE DL FMedSci

発行：IOF

協賛：Amgen, UCB

連携：University of Oxford



The
Health Policy
Partnership

Capture the Fracture® パートナーシップ 概要



対象地域: アジア-オセアニア, 中南米, 中東, ヨーロッパ

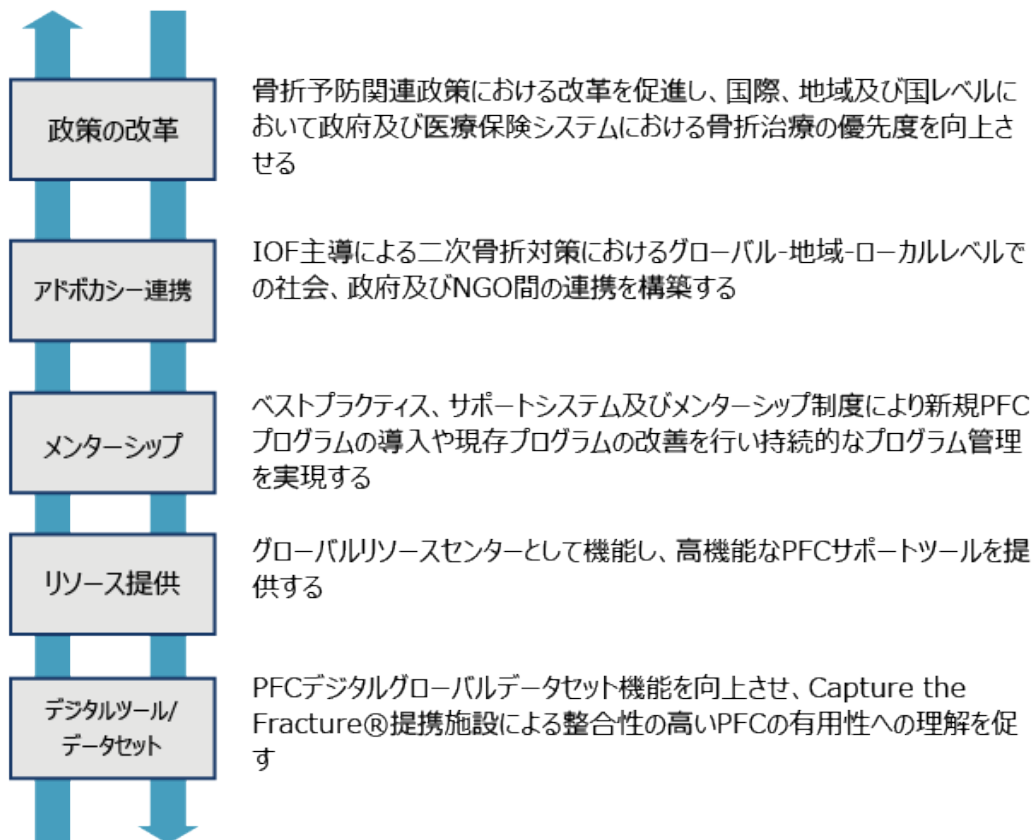
加盟国: アルゼンチン, オーストラリア, ブラジル, 中国, コロンビア, フランス, イタリア, 日本, 韓国, メキシコ, オランダ, ロシア, サウジアラビア, スペイン, スウェーデン, 台湾, トルコ

Capture the Fracture® パートナーシップ 概要



トップダウン型/ボトムアップ型双方向による施策導入の目標:

- PFC/FLSプログラム導入患者数の増加
- 2022年までに既存のPFC/FLSプログラム数を25%増加
- 2022年上半までに新たに320のPFC/FLSプログラムを導入
 - パートナーシップ提携以降、現在までに新規67拠点及び既存105拠点のPFCセンターがCtFマップに追加
 - 新規プログラムにより新たに15000人の患者を骨折マネジメントに導入

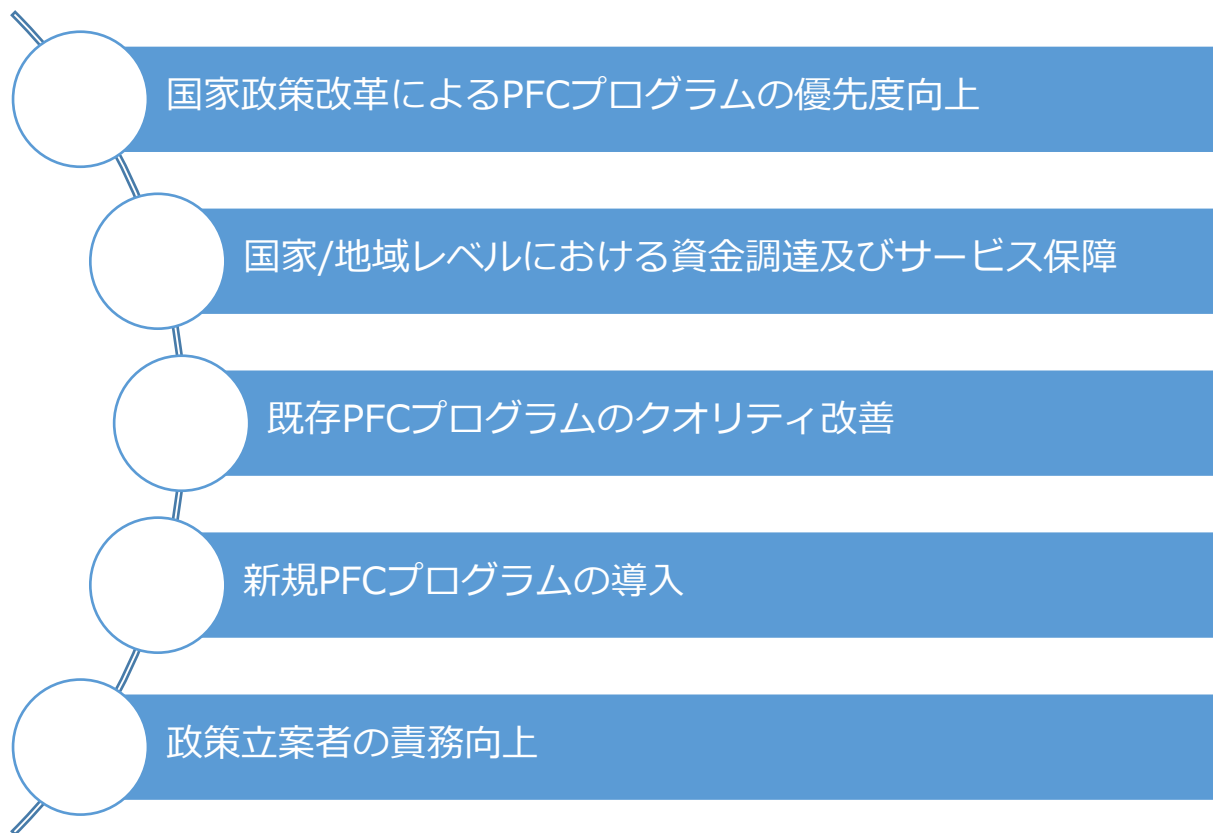


政策ピラー：目的



国家 - 地域レベルにおける政策改革を行い、Fracture Liaison Services (骨折リエゾンサービス、FLS)を始めとした**骨折後ケアプログラムの優先度を上げる**

政策ピラー：期待される成果



政策ピラー関連資料

- 政策関連概説資料: *Capture the Fracture*® パートナーシップ- 政策立案ガイダンス
- 要約(1ページ)
- 国別モデルを組み込んだ政策アセスメント
- ベネフィット試算システム



骨折の早期発見

治療を必要とする骨折患者を確実に把握する



適切な骨折治療

特定された対象患者に対し世界基準の骨折後ケアを提供する



生涯にわたる骨折予防

公衆衛生領域における直接的な対策を通し健康寿命の延伸を実現する



エンゲージメントの向上

問題及び解決策に対する公衆理解を促す

政策ピラー：目標



重要な国家政策の一つ
として骨粗鬆症をサ
ポートする

キーステークホルダーの特定及
び効率的な政策改革・実施の為
のストラテジーを制定する

骨折後ケア連携プログラム/骨折
リエゾンサービス(FLS)の強化を
提言する





CAPTURE THE FRACTURE® PARTNERSHIP

政策立案ガイダンス

発行：IOF

協賛：Amgen, UCB

連携：University of Oxford



The
Health Policy
Partnership



CTFP 政策立案ガイダンス

- 国、地方及び自治体レベルにおける政策転換の提唱
- 疾患に関するデータと現状の把握
- 効率的な政策策定に関する項目別の解説

CAPTURE THE FRACTURE®

パートナーシップ

政策立案ガイダンス





骨折後ケア連携プログラム とは？

- 骨折後ケア (Post-Fracture Care, PFC)連携プログラムは骨折リエゾンサービス(FLS)等に代表されるコーディネーターを中心としたケアシステムを指す。脆弱性骨折患者の特定、治療及び経過観察を可能とする。

PFCプログラムは単一且つ最も重要な医療サービスの提供により二次骨折のリスクを低減させる



改革推進が必要な理由とは？



2025年における予測値(全世界)

1350万件の脆弱性骨折



膨大な経済負担

5億人の骨粗鬆症患者



骨粗鬆症及び脆弱性骨折への迅速な対応が必須。官民の幅広いセクターからなるメンバーと共に患者-医療従事者-クリニカルリーダーシップを連結させ、政策転換提言を強化することが重要。



改革推進が必要な理由 とは？

- 骨粗鬆症及び脆弱性骨折は**患者への負担・予後不良が顕著**である一方、**有効性の高い治療方法**が確立されているにも関わらず、医療政策において**長年見過ごされてきた疾患**である。

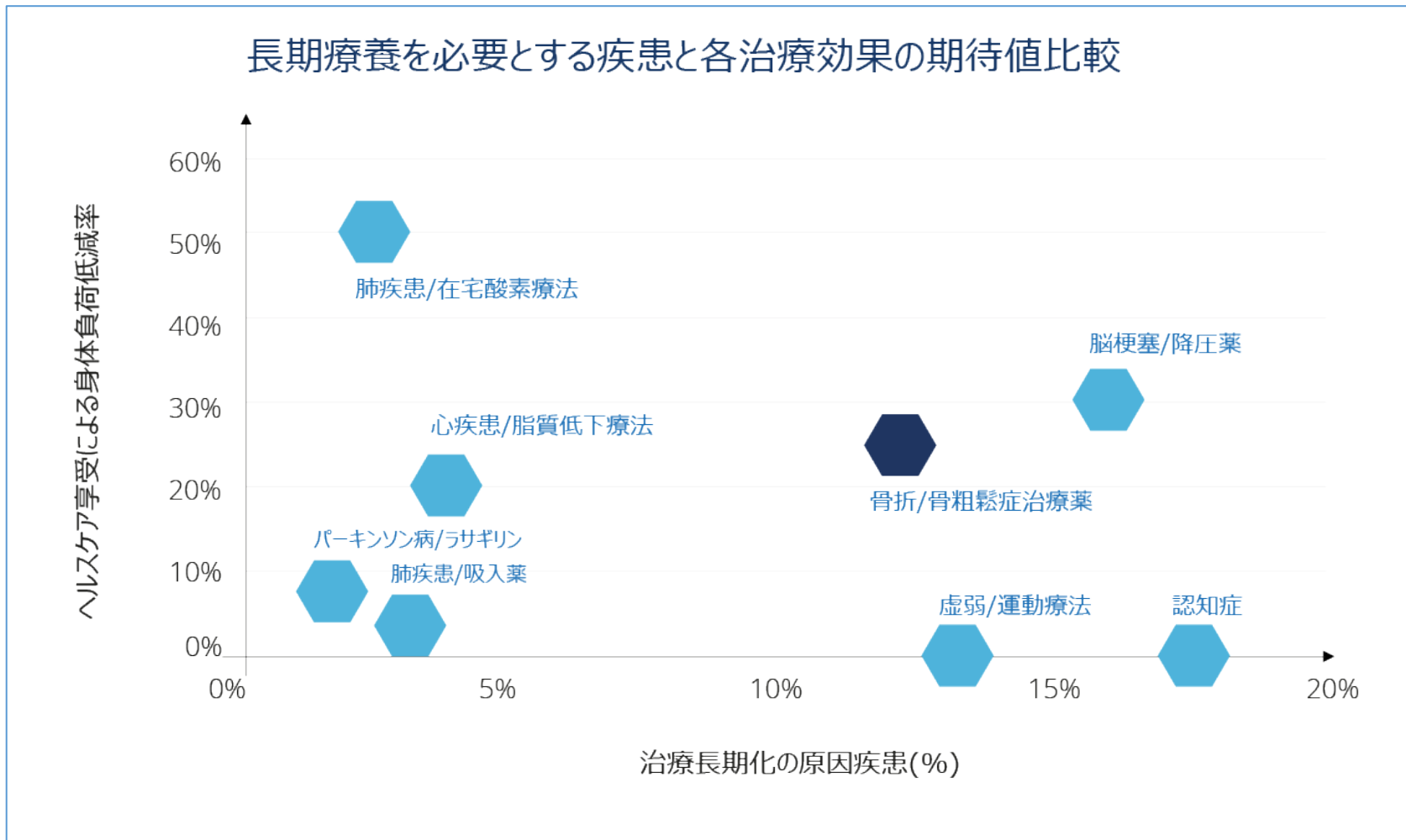
現在、骨折患者の80%は骨粗鬆症のスクリーニング及びフォローアップ治療を享受できずにいる



改革推進が必要な理由とは？



二次骨折は**身体機能喪失・制限に最も関連する要因疾患**である



政策転換の推進 – 国家レベル



二次骨折予防対策をより優先度の高い国家戦略に組み込むことにより、地方自治体レベルにおける政策転換を行う。その結果、二次骨折リスクの高い患者をより早期かつ確実に特定・治療することが可能となり、国民の生活・健康増進を実現する。

二次骨折予防の重要性
に関する認知度向上

公衆理解推進の
積極的支援

国家政策における合意
形成を推進

政策転換の推進 – 地方及び自治体レベル



転倒転落に関する
包括的アセスメント



パーソンセンタード型
多領域統合ケアモデル



プライマリケア医の
役割をサポート





基礎知識： 骨粗鬆症及び脆弱性 骨折とは？

WHOの定義：

骨粗鬆症は骨密度(BMD)
が若年成人平均値 (YAM)
の $-2.5 SD$ (標準偏差)以下
に該当する状態
(T-スコア $\leq -2.5SD$)

判定	骨密度測定値	Tスコア
正常	BMDがYAMの $-1SD$ 以上	T-スコア ≥ -1
低骨量状態 (骨減少)	BMDがYAMの $-2.5SD$ より大きく $-1SD$ より小さい	$-1 > T\text{-スコア} > -2.5$
骨粗鬆症	BMDがYAMの $-2.5SD$ 以下	T-スコア ≤ -2.5
重症骨粗鬆症	BMDがYAMの $-2.5SD$ 以下かつ1個以上の脆弱性骨折を有する	T-スコア ≤ -2.5 (+ 脆弱性骨折)



ノーアクション に起因する財政 支出:

改革促進を必要とする
経済指標



脆弱性骨折

374億ユーロ

脳梗塞

200億ユーロ

冠動脈疾患

190億ユーロ

効果的な政策立案方針を構成する4本の柱



骨折の早期発見

治療を必要とする骨折患者を確実に把握する



適切な骨折治療

特定された対象患者に対し世界基準の骨折後ケアを提供する



生涯にわたる骨折予防

公衆衛生領域における直接的な対策を通し健康寿命の延伸を実現する



エンゲージメントの向上

問題及び解決策に対する公衆理解を促す

早期発見：二次骨折の診断及び管理



キーポイント

骨折の連鎖
(ドミノ骨折)

発見・処置までの
経過時間と予防可
能骨折件数は比例
する

PFC連携プログラムは
脆弱性骨折に関する指
標を用いることでより
効率的な患者の特定を
可能にする

PFC連携プログラム導入
に関する費用は将来的な
経済ベネフィットにより
カバーされる



早期発見：二次骨折の 診断と管理

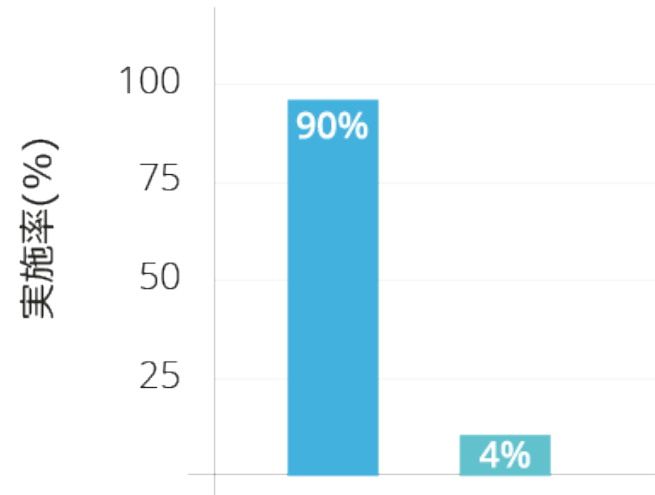
現在の状況は？

- 脆弱性骨折では誤診が生じることも多く、二次骨折予防のための適切なフォローアップ治療の提供が不十分

これからすべき事は？

- 国別に明確・一元化されたガイドランスを策定する
- PFC連携プログラムを強化し、骨粗鬆症の為の優先的な経済支援を促す
- 骨折の特定を目的とした自動化システム開発に投資する

世界における骨粗鬆症及び 転倒アセスメント実施率



■ 患者特定及び治療に関する明確なガイドラインが存在する国

■ 患者特定及び治療に関する明確なガイドラインが存在しない国



適切な治療:

多領域からなる総合的な骨折後ケア

キーポイント

- 現状の医療システムでは骨粗鬆症治療における問題へのアプローチがされていないことが多い
- 多領域からなる医療チーム導入により充実したケア及びリハビリテーションを提供することが可能
- 効果的なフレームワークに基づいた多領域連携型の退院後ケアにより長期的に骨折のリスクを減少させる
- クオリティの高い退院後ケアをより多く提供するためにベストプラクティスモデルが必要

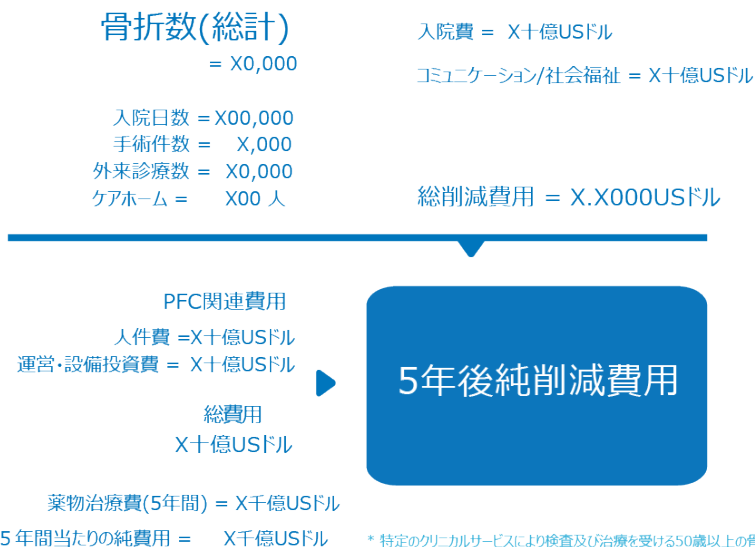
適切な治療：多領域からなる総合的な骨折後ケア



PFC連携プログラムによる費用対効果及び費用削減効果



PFCサービスによる5年間当たりの医療費及び予防可能な骨折件数



* 特定のクリニカルサービスにより検査及び治療を受ける50歳以上の骨折患者

適切な治療：多領域からなる総合的な骨折後ケア

今しなければならないこととは？

- **IOF Capture the Fracture®** プログラムは PFC連携プログラム構築をグローバルにサポートし、ベストプラクティスのための基準遵守を実現する



国別に調整されたサービス提供モデル

より実用的な地域医療システムの構築 ▶

◀ 計画 & 実施

クオリティーの即時改善 ▶

◀ 既存臨床サービスへの支援及びメンターシップ

クオリティーの保証 ▶

◀ 医療従事者及び患者への情報提供

医療経済効果 ▶

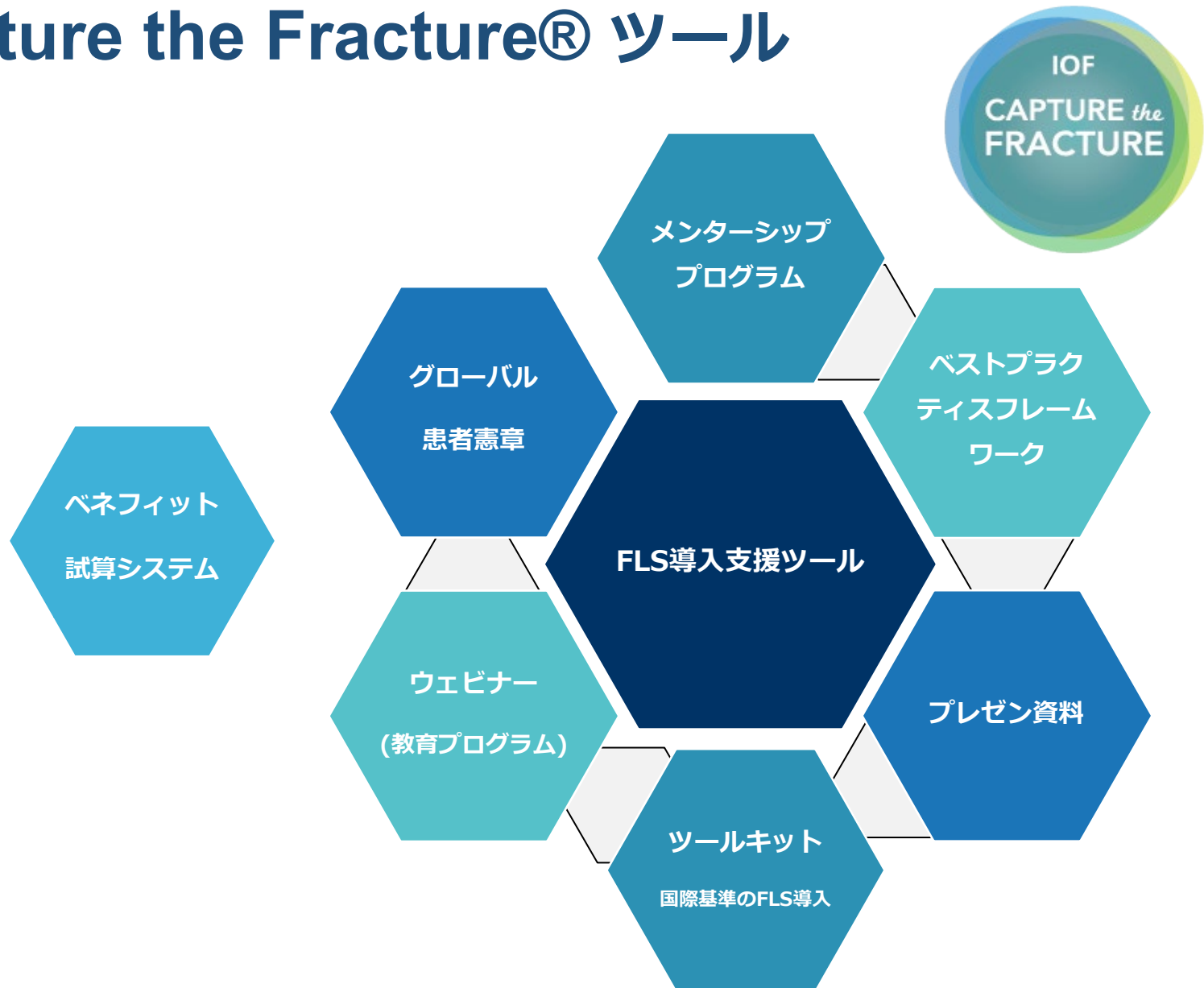


患者および家族のサポート

医師および医療施設のサポート

医療経済改善

Capture the Fracture® ツール





健康的・活動的に年齢を重ねていくために： 早い段階から健康を維持し、将来の転倒転落・骨折を未然に防ぐ

転倒転落が健康及び身体機能の早期喪失における分岐点となりうる

- **転倒転落予防**及び骨の健康増進対策をヘルスケア・社会サービスに取り入れる
- 生活環境の**適応化**を推進する
- 現在の身体機能の維持及び改善を**サポート**する



大腿骨骨折後 1年以内死亡率 = 30% (60歳以上)



健康的・活動的に
年齢を重ねていくために：
早い段階から健康を維持し、
将来の転倒転落・骨折を未然に防ぐ

- 転倒転落予防及び骨の健康増進対策を医療・社会ケアサービスに取り入れる
- 生活環境の**適応化**を推進する
- 現在の身体機能の維持及び改善を**サポート**する

骨折患者の80%は
70歳以上

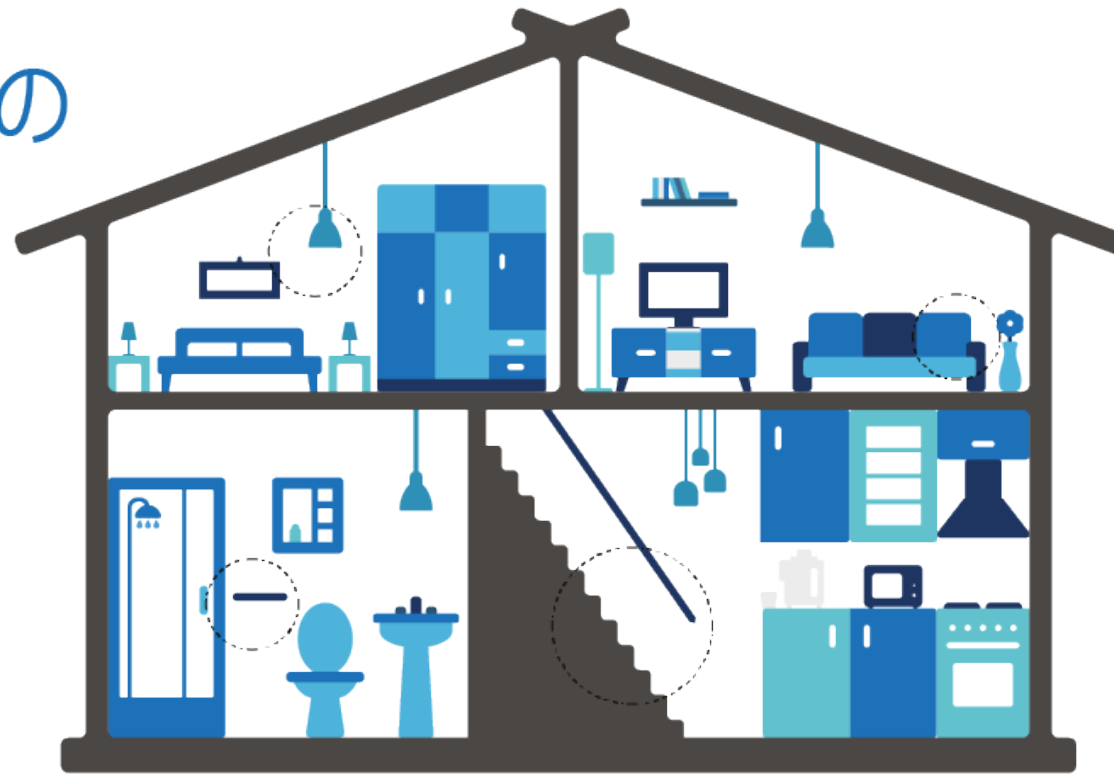
骨折の90%以上は
転倒転落に起因



健康的・活動的に年齢を重ねていくために：
早い段階から健康を維持し、
将来の転倒転落・骨折を未然に防ぐ

政策立案者がヘルスケア・社会サービスにおける適切な予算編成・資金調達を行い、包括的な転倒転落リスクアセスメントを実施することが必須である

安全な生活環境の確保





エンゲージメントの向上: 意識改革、行動、セルフマネジメント

エンゲージメントの意義・作用とは？



公衆の理解・認知度の
向上



組織力・連携の強化



患者のニーズに合わせ
た治療プランを提供





The
Health Policy
Partnership

www.capturethefracture.org

www.osteoporosis.foundation

www.ox.ac.uk/

www.healthpolicypartnership.com

CAPTURE THE FRACTURE® PARTNERSHIP

発行：IOF

協賛：Amgen, UCB

連携：University of Oxford